

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.3.12	2020.3.12	
採取時刻			9:30	8:55	
全水深(m)			1.70	1.26	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.	(5)	(25)
2			Pseudanabaena spp.	(+)	(25)
3			OSCILLATORIALES	(5)	(+)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	110	200
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	5	
6			Peridinium spp.	15	
7	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+	
8	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	20	25
9			Aulacoseira ambigua	230	275
10			Aulacoseira pusilla	135	400
11			Cymatopleura solea	2	
12			Melosira varians		+
13			Nitzschia acicularis	50	+
14			Nitzschia fruticosa	40	+
15			Nitzschia spp.	50	+
16			Skeletonema potamos	555	7000
17			Staurisirella berlinensis	+	+
18			Suirella sp.		+
19			Ulnaria japonica	45	250
20			Ulnaria sp.	+	
21			Thalassiosiraceae-5	850	875
22			Thalassiosiraceae-10	4650	19000
23			Thalassiosiraceae-25	+	+
24			BACILLARIOPHYCEAE	+	+
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	20	25
26			Lepocinclis sp.	+	
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	60	300
28			Chodatella quadriseta		+
29			Closterium sp.	+	
30			Crucigenia lauterbornii		100
31			Crucigenia spp.		200
32			Dictyosphaerium spp.	20	300
33			Micractinium spp.	140	
34			Monoraphidium spp.	25	25
35			Pandorina morum	8	
36			Pediastrum simplex		+
37			Pediastrum tetras	8	
38			Scenedesmus acuminatus		+
39			Scenedesmus spp.	40	300
40			Tetrastrum spp.	40	200
41			CHLOROPHYCEAE	150	375
42	輪形動物	輪虫	Collotheceidae		+
43			EURYTOXOEA		1
44	織毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		2
45			POLYHYMENOPHORA		+
46			CILIOPHORA	5	+
47	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	+	70
48			鞭毛藻	40	110
49			鞭毛虫	70	20

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2020.3.12	2020.3.12
種類組成			7393	30103
総数				
藍藻			10	50
クリプト藻			110	200
渦鞭毛藻			20	0
黄金色藻			0	0
珪藻			6627	27825
ユーグレナ藻			20	25
緑藻			491	1800
その他の植物性動物			40	180
			75	23
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphaniizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>藍藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結節の無いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>緑藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.3.4	2020.3.4	
採取時刻			11:05	9:15	
全水深(m)			1.86	1.38	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)	
2			Pseudanabaena spp.	(10)	
3			Pseudanabaenaceae	(5)	
4			CHROOCOCCALES	(5)	
5			OSCILLATORIALES	(100)	
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	170	375
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+	
8			Peridinium spp.	+	25
9	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+	
10			Mallomonas sp.	+	
11		珪藻	Asterionella formosa	20	+
12			Aulacoseira ambigua	105	450
13			Aulacoseira pusilla	40	200
14			Aulacoseira granulata		+
15			Cymatopleura solea	+	
16			Melosira varians	7	+
17			Nitzschia acicularis	195	375
18			Nitzschia fruticosa	10	+
19			Nitzschia spp.	30	50
20			Skeletonema potamos	870	5900
21			Staurosirella berolinensis	+	+
22			Ulnaria japonica	65	125
23			Ulnaria sp.		+
24			Thalassiosiraceae-5	900	2000
25			Thalassiosiraceae-10	9000	45250
26	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	15	25
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	140	100
28			Chlorogonium spp.	10	+
29			Chodatella quadriseta	+	25
30			Dictyosphaerium spp.	180	500
31			Micractinium sp.	+	
32			Monoraphidium spp.	30	25
33			Pediastrum boryanum	+	
34			Scenedesmus spp.	+	+
35			CHLOROPHYCEAE	240	625
36			繊毛虫	キネトフラク <sup>ミ</sup> ミノフォーラ	Coleps sp.
37	貧膜口	SESSILIDA			1
38	多膜口	Tintinnidium spp.		1	3
39		POLYHYMENOPHORA		5	50
40		-	CILIOPHORA	+	+
41	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	300	200
42			鞭毛藻	550	350
43			鞭毛虫	100	50

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.3.4	2020.3.4
総数		13003	56829
種類組成	藍藻	20	125
	クリプト藻	170	375
	渦鞭毛藻	0	25
	黄金色藻	0	0
	珪藻	11242	54350
	ユーグレナ藻	15	25
	緑藻	600	1275
	その他の植物性動物性	850	550
		106	104
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の設面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下	手賀沼中央			
採取年月日		2020. 2. 17	2020. 2. 17			
採取時刻		13:26	13:02			
全水深 (m)		1.70	1.43			
採取水深 (m)		0.50	0.50			
採水量 (ml)		100	100			
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.		(25)	
2			Merismopedia sp.		(5)	
3			Pseudanabaena sp.		(+)	
4			OSCILLATORIALES		(5)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	55	25	
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		+	
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	+	
8			Synura sp.		25	
9			CHRYSOPHYCEAE		+	
10		珪藻	Asterionella formosa		20	+
11			Aulacoseira ambigua		95	200
12			Aulacoseira pusilla		105	+
13			Cymatopleura solea		+	
14			Fragilaria sp.		+	
15			Melosira varians			+
16			Nitzschia acicularis		30	100
17			Nitzschia fruticosa			+
18			Nitzschia spp.		20	50
19			Skeletonema potamos		115	3200
20			Staurosirella berolinensis		+	
21			Ulnaria japonica		5	100
22	Ulnaria sp.		+			
23	Thalassiosiraceae-5		90	425		
24	Thalassiosiraceae-10		2500	31750		
25	BACILLARIOPHYCEAE		5			
26	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5		
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+	
28			Dictyosphaerium spp.		40	+
29			Monoraphidium sp.		5	
30			Scenedesmus spp.		30	50
31			CHLOROPHYCEAE		100	50
32	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+	
33			Tintinnidium sp.		1	
34		多膜口	POLYHYMENOPHORA		25	
35			CILIOPHORA		75	
36	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻 (5 μm以下)	100	250	
37			鞭毛藻		50	350
38			鞭毛虫		150	300
総数				3555	36976	
種類組成						
		藍藻		10	25	
		クリプト藻		55	25	
		渦鞭毛藻		0	0	
		黄金色藻		25	0	
		珪藻		2985	35825	
		ユーグレナ藻		5	0	
		緑藻		175	100	
		その他の植物性		150	600	
		動物性		150	401	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.2.4	2020.2.4	
採取時刻			10:19	9:08	
全水深(m)			1.87	1.33	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(15)	
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	25	
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	5	
4			Synura sp.	20	
5			CHRYSTOPHYCEAE	+	
6		珪藻	Asterionella formosa	+	
7			Aulacoseira ambigua	210	
8			Aulacoseira pusilla	220	
9			Melosira varians	+	
10			Navicula spp.	10	
11			Nitzschia acicularis	+	
12			Nitzschia fruticosa	10	
13			Nitzschia spp.	+	
14			Skeletonema potamos	370	
15			Ulnaria japonica	45	
16			Ulnaria spp.	+	
17			Thalassiosiraceae-5	5	
18			Thalassiosiraceae-10	1850	
19			BACILLARIOPHYCEAE		
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	15	
21			Trachelomonas sp.	+	
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+	
23			Chlorogonium spp.	10	
24			Chodatella wratislawiensis	+	
25			Eudorina sp.	+	
26			Micractinium spp.	+	
27			Monoraphidium spp.	10	
28			Scenedesmus acuminatus	+	
29			Scenedesmus spp.	20	
30				CHLOROPHYCEAE	70
31			節足動物	甲殻	CRUSTACEA
32	輪形動物	輪虫	Collothecidae	+	
33	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	+	
34				CILIOPHORA	5
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	200	
36			鞭毛藻	150	
37			鞭毛虫	50	
総数				3280	
種類組成				13065	
			藍藻	15	
			クリプト藻	25	
			渦鞭毛藻	0	
			黄金色藻	5	
			珪藻	2720	
			ユーグレナ藻	15	
			緑藻	100	
			その他の植物性	350	
			動物性	50	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定(1%) 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット(5μmメッシュ)により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス(1.0ml)に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡(100~400倍)で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス(1.0ml)に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡(100~400倍)で検鏡した。	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に( )を付した。</li> <li>定量検鏡(計数時)において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種(浮遊性種)は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコムは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞殻構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種(Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等)は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径(3サイズ:5μm, 10μm, 25μm)で区別して各々計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2020.1.16	2020.1.16		
採取時刻		14:25	14:05		
全水深(m)		1.87	1.38		
採取水深(m)		0.50	0.50		
採水量(ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(25)	
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	125	150
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		
4			Peridinium sp.	+	
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	+
6			Synura spp.	+	+
7		珪藻	Asterionella formosa	+	+
8			Aulacoseira ambigua	+	50
9			Aulacoseira pusilla	100	650
10			Bacillaria paxillifer		26
11			Melosira varians	+	+
12			Nitzschia acicularis	50	25
13			Nitzschia sp.		+
14			Skeletonema potamos	1550	3550
15			Ulnaria japonica	25	100
16			Ulnaria sp.		+
17			Thalassiosiraceae-5	350	1250
18		Thalassiosiraceae-10	4000	38000	
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	75	+
20	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	25	25
21			Closterium sp.	+	
22			Dictyosphaerium spp.	400	
23			Micractinium sp.	+	
24			CHLOROPHYCEAE	200	250
25	輪形動物		輪虫	Collothecidae	
26	繊毛虫	貧膜口	OLIGOHYMENOPHORA	+	
27		多膜口	Tintinnidium sp.		+
28			POLYHYMENOPHORA	25	+
29			CILIOPHORA	25	25
30	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	100	250
31			鞭毛藻	300	250
32			鞭毛虫	50	350
総		数		7425	44951
種類組成		藍藻		25	0
		クリプト藻		125	150
		渦鞭毛藻		0	0
		黄金色藻		0	0
		珪藻		6075	43651
		ユーグレナ藻		75	0
		緑藻		625	275
		その他の植物性動物性		400	500
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考					
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2020.1.7	2020.1.7
採取時刻			10:45	9:41
全水深(m)			1.80	1.30
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)
2			Merismopedia sp.	(+)
3			CHROOCOCCELES	(25)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	350 200
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	+
6	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+
7			Mallomonas sp.	+
8			Synura sp.	+
9		珪藻	Asterionella formosa	+
10			Aulacoseira ambigua	+
11			Aulacoseira pusilla	+
12			Bacillaria paxillifer	+
13			Nitzschia acicularis	+
14			Nitzschia spp.	+
15			Skeletonema potamos	2950 12375
16	Ulnaria japonica	75		
17	Tabellaria sp.	+		
18		Thalassiosiraceae-10	2625 28750	
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+
20			Trachelomonas sp.	25
21	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	+
22			Chodatella quadriseta	25
23			Dictyosphaerium sp.	50
24			Micractinium sp.	+
25			Monoraphidium spp.	25
26			Scenedesmus acuminatus	+
27			Scenedesmus bicaudatus	100
28			Scenedesmus sp.	100
29			Staurastrum sp.	+
30				CHLOROPHYCEAE
31	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	+
32			POLYHYMENOPHORA	+
33			—	CILIOPHORA
34	不明プランクトン	—	微小鞭毛藻(5μm以下)	50
35			鞭毛藻	150
36			鞭毛虫	100
総数			6225	42675
種類組成			藍藻	0
			クリプト藻	350
			渦鞭毛藻	0
			黄金色藻	0
			珪藻	5575
			ユーグレナ藻	0
			緑藻	150
			その他の植物性	100
			動物性	50
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定(1%) 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット(5μmメッシュ)により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス(1.0ml)に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡(100~400倍)で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス(1.0ml)に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡(100~400倍)で検鏡した。
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に( )を付した。</li> <li>定量検鏡(計数時)において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種(浮遊性種)は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種(Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等)は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径(3サイズ：5μm、10μm、25μm)で区別して各々計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2019.12.12	2019.12.12
採取時刻			10:01	11:07
全水深(m)			1.82	1.37
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCALES	(5)
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	60
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+
5		珪藻	Asterionella formosa	+
6			Aulacoseira ambigua	+
7			Aulacoseira pusilla	115
8			Nitzschia acicularis	
9			Nitzschia fruticosa	+
10			Nitzschia sp.	5
11			Skeletonema potamos	1120
12			Ulnaria japonica	5
13			Thalassiosiraceae-5	210
14			Thalassiosiraceae-10	425
15		Thalassiosiraceae-25	+	
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5
17	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus sp.	+
18			Chlorogonium spp.	+
19			Dictyosphaerium spp.	20
20			Micractinium sp.	
21			Monoraphidium spp.	20
22			Scenedesmus spp.	20
23			CHLOROPHYCEAE	10
24	繊毛虫		多膜口	POLYHYMENOPHORA
25		—	CILIOPHORA	5
26	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	450
27			鞭毛藻	250
28			鞭毛虫	50
総数				2300
種類組成				18655
			藍藻	5
			クリプト藻	60
			渦鞭毛藻	0
			黄金色藻	0
			珪藻	1880
			ユーグレナ藻	0
			緑藻	50
			その他の植物性動物性	250
				110
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
備考				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2019.12.4	2019.12.4		
採取時刻			10:58	9:40		
全水深(m)			1.77	1.32		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	170	850	
2	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.		52	
3			Synura sp.		15	
4		珪藻	Aulacoseira ambigua	20	+	
5			Aulacoseira pusilla		+	
6			Aulacoseira granulata		+	
7			Bacillaria paxillifer	24		
8			Melosira varians		+	
9			Navicula spp.	10		
10			Nitzschia fruticosa		+	
11			Nitzschia spp.	10	20	
12			Skeletonema potamos	335	4700	
13			Ulnaria japonica	5	+	
14			Thalassiosiraceae-5	100	150	
15			Thalassiosiraceae-10	220	1100	
16				BACILLARIOPHYCEAE	10	
17			緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	
18	Crucigeniella spp.				120	
19	Dictyosphaerium spp.				40	
20	Micractinium spp.	+			50	
21	Monoraphidium spp.				10	
22	Pediastrum duplex	+				
23	Pediastrum simplex	+				
24	Scenedesmus acuminatus	+				
25	Scenedesmus spp.	20			20	
26		CHLOROPHYCEAE			20	125
27	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA		+	
28		-	CILIOPHORA	+	20	
29	不明プランクトン		微小鞭毛藻（5μm以下）	200	550	
30			鞭毛藻	100	300	
31			鞭毛虫	50	225	
総数				1294	8367	
種類組成			藍藻	0	0	
			クリプト藻	170	850	
			渦鞭毛藻	0	0	
			黄金色藻	0	67	
			珪藻	734	5990	
			ユーグレナ藻	0	0	
			緑藻	40	365	
			その他の植物性動物性	300	850	
				50	245	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考			<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2019.11.19	2019.11.19		
採取時刻		13:31	13:05		
全水深(m)		1.77	1.28		
採取水深(m)		0.50	0.50		
採水量(ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Microcystis wesenbergii		+
2			OSCILLATORIALES		(25)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	+	1650
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		50
5	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua	+	+
6			Aulacoseira pusilla	+	25
7			Aulacoseira granulata		+
8			Navicula sp.		+
9			Nitzschia acicularis	25	25
10			Nitzschia fruticosa		100
11			Nitzschia spp.	75	25
12			Skeletonema potamos	27250	83000
13			Staurosirella berolinensis		200
14			Ulnaria japonica		25
15			Thalassiosiraceae-5	1000	1000
16			Thalassiosiraceae-10	75	2200
17			BACILLARIOPHYCEAE		+
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
19	緑色植物	緑藻	Dictyosphaerium sp.		100
20			Monoraphidium spp.		75
21			Pediastrum duplex		+
22			Scenedesmus spp.		150
23			CHLOROPHYCEAE	250	1075
24	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+
25			Trichocercidae		1
26			EUROTATOREA		1
27	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		4
28			POLYHYMENOPHORA	+	+
29			CILIOPHORA	25	25
30	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	2000	1000
31			鞭毛藻	125	500
32			鞭毛虫	500	750
総数				31325	92006
種類組成		藍藻	0	25	
		クリプト藻	0	1650	
		渦鞭毛藻	0	50	
		黄金色藻	0	0	
		珪藻	28425	86600	
		ユーグレナ藻	0	0	
		緑藻	250	1400	
		その他の植物性	2125	1500	
		動物性	525	781	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2019.11.7	2019.11.7		
採取時刻		10:17	9:10		
全水深(m)		1.89	1.29		
採取水深(m)		0.50	0.50		
採水量(ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.		(5)
2			Pseudanabaenaceae	(+)	
3			CHROCOCCALES		(+)
4			OSCILLATORIALES	(5)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	950	3150
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15	230
7	不等毛植物	珪藻	黄金色藻	Mallomonas sp.	+
8			Aulacoseira pusilla	20	135
9			Aulacoseira granulata		+
10			Nitzschia acicularis	5	+
11			Nitzschia fruticosa	+	20
12			Nitzschia spp.	20	5
13			Skeletonema potamos	34250	47300
14			Surirella sp		+
15			Ulnaria sp.	+	
16			Thalassiosiraceae-5	300	1050
17	Thalassiosiraceae-10	450	2350		
18	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		40
19			Chlorogonium spp.		15
20			Chodatella wratislawiensis	5	
21			Coelastrum sp.		+
22			Dictyosphaerium spp.	60	100
23			Micractinium spp.	40	20
24			Monoraphidium spp.	5	5
25			Oocystis sp.		20
26			Pandorina morum	+	8
27			Pediastrum simplex	32	+
28			Pediastrum tetras		+
29			Scenedesmus spp.	+	100
30			Treubaria sp.		+
31			CHLOROPHYCEAE	50	55
32	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		+
33			EUROTATOREA		3
34	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	8
35			POLYHYMENOPHORA	5	+
36			CILIOPHORA	25	25
37	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻(5μm以下)	850	1150
38			鞭毛藻	300	1400
39			鞭毛虫	200	1400
総		数		37588	58594
種類組成		藍藻	5	5	
		クリプト藻	950	3150	
		渦鞭毛藻	15	230	
		黄金色藻	0	0	
		珪藻	35045	50860	
		ユーグレナ藻	0	0	
		緑藻	192	363	
		その他の植物性動物性	1150	2550	
			231	1436	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考					
<ul style="list-style-type: none"> <li>計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央			
採取年月日		2019.10.15	2019.10.15			
採取時刻		13:31	13:10			
全水深(m)		1.89	1.40			
採取水深(m)		0.50	0.50			
採水量(ml)		100	100			
No.	門	網	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.		(25)	
2			Merismopedia spp.	(25)	(25)	
3			Pseudanabaenaceae	(+)		
4			CHROOCOCCALES	(25)	(50)	
5			OSCILLATORIALES		(75)	
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	225	900	
7			珪藻	Aulacoseira ambigua		100
8				Aulacoseira pusilla	100	125
9				Aulacoseira granulata	+	+
10				Bacillaria paxillifer	+	
11				Melosira varians	+	
12				Navicula spp.	25	+
13				Nitzschia acicularis	525	25
14				Nitzschia spp.	50	125
15				Skeletonema potamos	2225	6450
16				Surirella spp	+	1
17				Ulnaria japonica	125	
18				Thalassiosiraceae-5	625	1000
19				Thalassiosiraceae-10	175	900
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻		Euglena sp.		+
21	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.	+		
22			Actinastrum spp.	+	+	
23			Dictyosphaerium spp.	+	700	
24			Gonium sp.	+		
25			Micractinium sp.		+	
26			Monoraphidium sp.		25	
27			Oocystis spp.	75	+	
28			Pediastrum duplex		16	
29			Pediastrum simplex	+	+	
30			Scenedesmus acuminatus	+		
31			Scenedesmus bicaudatus		+	
32			Scenedesmus spp.	100	450	
33			Schroederia sp.		+	
34				CHLOROPHYCEAE	225	200
35	輪形動物	輪虫	EUROTATOREA	1		
36	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1		
37			Tintinnidium spp.		3	
38		多膜口	POLYHYMENOPHORA	25	75	
39			CILIOPHORA	25	50	
40	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	25		
41	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	1750	875	
42			鞭毛藻	250	375	
43			鞭毛虫	500	500	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 10. 15	2019. 10. 15
総数		7102	13070
種類組成	藍藻	50	175
	クリプト藻	225	900
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	3850	8726
	ユーグレナ藻	0	0
	その他の植物性	400	1391
	動物性	2000	1250
検査条件		577	628
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 <i>Anabaena</i> 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。</li> <li>・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。</li> <li>・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。</li> <li>・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の設面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2019.10.8	2019.10.8	
採取時刻			14:09	13:09	
全水深(m)			1.82	1.34	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(75)	(100)
2			Merismopedia spp.	(25)	(425)
3			Microcystis aeruginosa		25
4			Pseudanabaena spp.	(25)	(75)
5			CHROOCOCCELES		(25)
6			OSCILLATORIALES	(75)	(250)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	8500	8750
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	25	
9			Peridinium spp.	300	275
10	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		25
11		珪藻	Aulacoseira ambigua		+
12			Aulacoseira pusilla	150	350
13			Aulacoseira granulata	+	
14			Fragilaria crotonensis	+	
15			Navicula sp.		+
16			Nitzschia acicularis	+	75
17			Nitzschia fruticosa	+	475
18			Nitzschia spp.	75	500
19			Skeletonema potamos	6550	14375
20			Staurosirella berolinensis		+
21			Surirella spp	+	3
22			Thalassiosiraceae-5	3750	9250
23			Thalassiosiraceae-10	1050	6250
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	75	
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
26			Chlorogonium spp.	300	275
27			Coelastrum spp.	+	+
28			Crucigenia lauterbornii		+
29			Crucigenia sp.		100
30			Crucigeniella crucifera	300	400
31			Dichotomococcus spp.		200
32			Dictyosphaerium spp.	+	500
33			Golenkinia spp.	+	25
34			Lobomonas sp.		+
35			Micractinium spp.	+	200
36			Monoraphidium spp.	100	100
37			Oocystis spp.	+	275
38			Pediastrum duplex		+
39			Pediastrum tetras	+	
40			Pteromonas sp.		+
41			Scenedesmus acuminatus		200
42			Scenedesmus bicaudatus	+	100
43			Scenedesmus denticulatus		+
44			Scenedesmus spp.	100	300
45			Schroederia sp.		25
46			Tetraedron spp.	+	+
47			Treubaria sp.	+	
48				CHLOROPHYCEAE	1100
49	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		+
50			Brachionus sp.	+	
51			Polyarthra spp.	+	2
52			Schizocerca diversicornis	+	+
53			Trichocercidae	2	3
54			EUROTATOREA		3
55	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	1
56			POLYHYMENOPHORA	25	+
57			CILIOPHORA	100	50
58	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+
59	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	1500	2250
60			鞭毛藻	3250	2750
61			鞭毛虫	1875	3250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019.10.8	2019.10.8
総数		29328	53037
種類組成	藍藻	200	900
	クリプト藻	8500	8750
	渦鞭毛藻	325	275
	黄金色藻	0	25
	珪藻	11575	31278
	ユーグレナ藻	75	0
	緑藻	1900	3500
	その他の植物性動物性	4750	5000
	2003	3309	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2019.9.12	2019.9.12	
採取時刻			13:30	13:06	
全水深(m)			1.85	1.35	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)	
2			Merismopedia spp.	(50)	
3			Microcystis aeruginosa	+	
4			Pseudanabaena sp.	(+)	
5			CHROOCOCCALES	(25)	
6			OSCILLATORIALES	(125)	(150)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2000	3750
8	渦鞭毛植物	珪藻	Peridinium spp.	25	50
9			Aulacoseira pusilla		150
10			Aulacoseira granulata		+
11			Nitzschia acicularis	25	125
12			Nitzschia fruticosa	100	150
13			Nitzschia spp.	225	900
14			Skeletonema potamos	7900	12125
15			Surirella spp.	1	1
16			Thalassiosiraceae-5	1500	9500
17			Thalassiosiraceae-10	1600	4500
18			Thalassiosiraceae-25	+	
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
20			Chlorogonium spp.	100	50
21			Chodatella sp.		+
22			Coelastrum spp.	400	+
23			Cosmarium sp.		+
24			Dictyosphaerium spp.	+	600
25			Golenkinia sp.	25	
26			Micractinium spp.	100	+
27			Monoraphidium spp.	50	+
28			Pediastrum duplex	8	+
29			Pediastrum simplex	+	40
30			Scenedesmus acuminatus	+	+
31			Scenedesmus bicaudatus	+	100
32			Scenedesmus denticulatus		+
33			Scenedesmus spp.	350	600
34			Tetraedron sp.	25	
35			Tetrastrum elegans	100	+
36			Tetrastrum heterocanthum	+	
37			Tetrastrum sp.		100
38			Treubaria spp.	25	+
39		CHLOROPHYCEAE	1250	1350	
40	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	+	1
41			Filinia sp.	+	
42			Polyarthra spp.	1	3
43			Synchaeta sp.		+
44		EUROTATOREA		1	
45	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA		+
46			-	CILIOPHORA	50
47	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	3500	4500
48			鞭毛藻	750	2250
49			鞭毛虫	1000	500

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 9. 12	2019. 9. 12
総数		21285	41646
種類組成	藍藻	175	250
	クリプト藻	2000	3750
	渦鞭毛藻	25	50
	黄金色藻	0	0
	珪藻	11351	27451
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	2433	2840
	その他の植物性動物性	4250	6750
	1051	555	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2019.9.5	2019.9.5
採取時刻			10:39	9:40
全水深(m)			1.80	1.34
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(75)
2			Merismopedia spp.	(125)
3			Microcystis aeruginosa	+
4			Pseudanabaena spp.	(100)
5			OSCILLATORIALES	(25)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	9000
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	+
8			Peridinium spp.	50
9	不等毛植物	ラフィド藻 珪藻	RAPHIDOPHYCEAE	1
10			Aulacoseira ambigua	150
11			Aulacoseira pusilla	+
12			Aulacoseira granulata	+
13			Nitzschia acicularis	100
14			Nitzschia fruticosa	100
15			Nitzschia spp.	75
16			Skeletonema potamos	7700
17			Surirella sp	+
18			Ulnaria japonica	+
19			Thalassiosiraceae-5	250
20			Thalassiosiraceae-10	75
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	25
22			Trachelomonas sp.	25
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+
24			Ankistrodesmus sp.	+
25			Chlorogonium spp.	200
26			Chodatella wratislawiensis	
27			Coelastrum sp.	
28			Crucigenia sp.	
29			Crucigeniella crucifera	
30			Dichotomococcus spp.	
31			Dictyosphaerium spp.	
32			Elakatothrix sp.	50
33			Golenkinia sp.	
34			Micractinium spp.	+
35			Monoraphidium spp.	25
36			Oocystis spp.	+
37			Pediastrum duplex	+
38			Pediastrum simplex	+
39			Scenedesmus acuminatus	
40			Scenedesmus bicaudatus	
41			Scenedesmus denticulatus	
42			Scenedesmus spp.	50
43			Tetraedron spp.	25
44			Tetrastrum elegans	+
45				CHLOROPHYCEAE
46	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+
47			Testudinella sp.	
48			Trichocercidae	1
49			EUROTATOREA	+
50	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+
51			Tintinnidium spp.	16
52		多膜口	POLYHYMENOPHORA	25
53		—	CILIOPHORA	25
54	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	2750
55			鞭毛藻	2250
56			鞭毛虫	250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019.9.5	2019.9.5
総数		27167	38964
種類組成	藍藻	100	600
	クリプト藻	9000	7750
	渦鞭毛藻	50	75
	黄金色藻	0	0
	珪藻	8300	13000
	ユーグレナ藻	50	75
	その他の植物性	4350	9891
	動物性	5000	6751
検査条件		317	822
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下	手賀沼中央			
採取年月日		2019. 8. 14	2019. 8. 14			
採取時刻		13:33	13:06			
全水深 (m)		2.21	1.75			
採取水深 (m)		0.50	0.50			
採水量 (ml)		100	100			
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)	(200)	
2			Merismopedia spp.	(75)	(375)	
3			Microcystis aeruginosa	+	275	
4			Microcystis wesenbergii		+	
5			Pseudanabaena spp.	(75)	(175)	
6			Pseudanabaenaceae		(50)	
7			CHROOCOCCALES	(50)	(200)	
8			OSCILLATORIALES	(+)	(675)	
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2750	5000	
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	25	250	
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		25	
12		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1	1	
13			珪藻	Aulacoseira ambigua	+	
14			Aulacoseira pusilla		+	
15			Aulacoseira granulata	+	175	
16			Nitzschia acicularis	125	200	
17			Nitzschia fruticosa	+	+	
18			Nitzschia spp.	300	1600	
19			Skeletonema potamos	5100	4450	
20			Ulnaria japonica	50		
21			Thalassiosiraceae-5	4125	3625	
22			Thalassiosiraceae-10	6500	3500	
23	Thalassiosiraceae-25		+			
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	25	25	
25			Trachelomonas sp.		25	
26	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	650	+	
27			Ankistrodesmus sp.		+	
28			Chlorogonium spp.	50	75	
29			Coelastrum spp.	200	400	
30			Crucigeniella crucifera	+		
31			Dichotomococcus spp.	+	300	
32			Dictyosphaerium spp.	+	1700	
33			Golenkinia spp.	+	25	
34			Gonium spp.	8	48	
35			Lobomonas spp.	+	25	
36			Micractinium spp.	300	300	
37			Monoraphidium spp.	50	75	
38			Oocystis spp.	50	100	
39			Pediastrum duplex	+	+	
40			Pediastrum simplex	16	16	
41			Pediastrum sp.		+	
42			Polyedriopsis spinulosa	+	+	
43			Scenedesmus acuminatus	+	+	
44			Scenedesmus bicaudatus	+	250	
45			Scenedesmus denticulatus	+		
46			Scenedesmus spp.	400	450	
47			Schroederia spp.	25	75	
48			Tetraedron sp.		25	
49			Tetrastrum elegans	100		
50				CHLOROPHYCEAE	975	1200
51	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	+	1	
52			Filinia sp.	+		
53			Polyarthra spp.	1	4	
54			Schizocerca diversicornis	1	1	
55			Testudinella sp.		1	
56			Trichocercidae	1	3	
57			EUROTATOREA		+	
58	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		1	
59			Tintinnidium spp.	2	3	
60		多膜口	POLYHYMENOPHORA	25	50	
61		-	CILIOPHORA		50	
62	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+	
63	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	1625	1875	
64			鞭毛藻	1500	2250	
65			鞭毛虫	250	250	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 8. 14	2019. 8. 14
総数		25480	30379
種類組成	藍藻	250	1950
	クリプト藻	2750	5000
	渦鞭毛藻	25	250
	黄金色藻	0	25
	珪藻	16200	13550
	ユーグレナ藻	25	50
	緑藻	2824	5064
	その他の植物性動物性	3126	4126
	280	364	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体系数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2019.8.6	2019.8.6	
採取時刻			10:47	9:13	
全水深(m)			2.34	1.75	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)	(100)
2			Aphanothece spp.	(75)	(250)
3			Merismopedia spp.	(250)	(300)
4			Microcystis aeruginosa		+
5			Microcystis wesenbergii		+
6			Pseudanabaena spp.	(50)	(225)
7			Nostocaceae		(+)
8			Pseudanabaenaceae	(75)	(25)
9			CHROOCOCCALES	(50)	
10			OSCILLATORIALES	(225)	(250)
11	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	7750	1400
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		+
13	不等毛植物	ラフィド藻 珪藻	Mallomonas sp.	+	
14			RAPHIDOPHYCEAE	1	
15			Acanthoceras zachariasii	+	
16			Amphora sp.	25	
17			Aulacoseira ambigua		+
18			Aulacoseira pusilla	225	450
19			Aulacoseira granulata	+	100
20			Nitzschia acicularis	900	2125
21			Nitzschia fruticosa	100	+
22			Nitzschia spp.	675	4250
23			Skeletonema potamos	3550	2450
24			Ulnaria spp.	25	+
25			Thalassiosiraceae-5	2250	2000
26			Thalassiosiraceae-10	950	1750
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	+
28	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+
29			Chlorogonium spp.	100	50
30			Chodatella wratislawiensis	50	50
31			Coelastrum sp.		+
32			Crucigenia lauterbornii	+	200
33			Crucigenia sp.	100	
34			Crucigeniella crucifera		+
35			Dichotomococcus sp.		200
36			Dictyosphaerium spp.	300	1300
37			Golenkinia spp.	+	+
38			Gonium spp.	64	
39			Lobomonas spp.	100	+
40			Micractinium spp.	+	+
41			Monoraphidium spp.	225	275
42			Oocystis spp.	+	+
43			Pandorina morum	32	+
44			Pediastrum duplex	+	
45			Pediastrum simplex	32	+
46			Pediastrum tetras	+	+
47			Polyedriopsis spinulosa	+	
48			Scenedesmus acuminatus	+	200
49			Scenedesmus bicaudatus	500	500
50			Scenedesmus denticulatus	+	+
51			Scenedesmus spp.	600	1350
52			Tetraedron spp.	25	25
53			Treubaria spp.	25	25
54			Yamagishiella unicocca	+	
55	CHLOROPHYCEAE	925	2350		
56	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		+
57			Brachionus sp.	1	
58			Filinia spp.	+	+
59			Polyarthra spp.	+	3
60			Trichocercidae		3
61			EUROTATOREA	1	2
62	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	+	
63			POLYHYMENOPHORA	125	75
64			CILIOPHORA	100	25
65	肉質鞭毛虫	糸状根足虫	FILOSEA		+
66			真正太陽虫	HELIOZOA	+
67	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	2750	6000
68			鞭毛藻	2250	1750
69			鞭毛虫	500	1000

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019.8.6	2019.8.6
総数		26031	31058
種類組成	藍藻	775	1150
	クリプト藻	7750	1400
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	8700	13125
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	3078	6525
	その他の植物性動物性	5001	7750
	727	1108	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2019.7.24	2019.7.24			
採取時刻			13:27	13:00			
全水深(m)			2.30	1.60			
採取水深(m)			0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.		(+)		
2			Aphanothece sp.		(25)		
3			Merismopedia spp.	(125)		(125)	
4			Microcystis wesenbergii			+	
5			Pseudanabaena spp.	(50)		(25)	
6			CHROOCOCCEALES			(25)	
7			OSCILLATORIALES	(50)		(75)	
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	3125	2500		
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	25			
10			Peridinium spp.	75	100		
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	+		
12		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	5	2		
13		珪藻	Aulacoseira pusilla	200	+		
14			Aulacoseira granulata	+	50		
15			Gyrosigma sp.		+		
16			Nitzschia acicularis	25	150		
17			Nitzschia fruticosa	+	+		
18			Nitzschia spp.	75	125		
19			Skeletonema potamos	5700	6250		
20			Ulnaria sp.	+			
21			Thalassiosiraceae-5	2250	5000		
22			Thalassiosiraceae-10	350	250		
23			Thalassiosiraceae-25	+	+		
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+		
25	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.		+		
26			Actinastrum spp.	+	+		
27			Ankistrodesmus sp.	+			
28			Chlorogonium sp.		25		
29			Chodatella sp.		+		
30			Coelastrum sp.		+		
31			Crucigeniella crucifera	600	+		
32			Dichotomococcus sp.	+			
33			Dictyosphaerium spp.	100	+		
34			Golenkinia sp.	25			
35			Gonium sp.		+		
36			Micractinium spp.	50	800		
37			Monoraphidium spp.	+	25		
38			Oocystis spp.	+	100		
39			Pandorina morum	64	8		
40			Pediastrum duplex	+	56		
41			Pediastrum simplex	+			
42			Pediastrum tetras	16	+		
43			Scenedesmus acuminatus		200		
44			Scenedesmus bicaudatus		+		
45			Scenedesmus denticulatus		+		
46			Scenedesmus spp.	100	250		
47			Schroederia spp.	25	+		
48			Tetraedron sp.		+		
49			Yamagishiella unicocca		32		
50				CHLOROPHYCEAE	325	2050	
51			輪形動物	輪虫	Asplanchna spp.	+	+
52					Brachionus sp.	+	
53					Polyarthra spp.	+	+
54					Trichocercidae	2	
55	EUROTATOREA				1		
56	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		1		
57		多膜口	Tintinnidium spp.	2	4		
58			POLYHYMENOPHORA		50		
59			CILIOPHORA	+	100		
60	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	25		
61	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	4500	2500		
62			鞭毛藻	2250	1000		
63			鞭毛虫	250	500		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 7. 24	2019. 7. 24
総数		20364	22429
種類組成	藍藻	225	275
	クリプト藻	3125	2500
	渦鞭毛藻	100	100
	黄金色藻	0	0
	珪藻	8600	11825
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	1305	3546
	その他の植物性動物性	6755	3502
	254	681	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2019.7.3	2019.7.3		
採取時刻		10:42	9:42		
全水深(m)		2.30	1.65		
採取水深(m)		0.50	0.50		
採水量(ml)		100	100		
No.	門	網	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(+)	(200)
2			Merismopedia spp.		(275)
3			Microcystis aeruginosa	+	25
4			Pseudanabaena mucicola		(25)
5			Pseudanabaena sp.		(25)
6			CHROOCOCCALES		(50)
7			OSCILLATORIALES	(50)	(125)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2000	4750
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	+	75
10			Peridinium spp.	50	175
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	25	+
12		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+	7
13		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	+
14			Amphora sp.		25
15			Asterionella formosa	+	
16			Aulacoseira ambigua	+	+
17			Aulacoseira pusilla	50	875
18			Aulacoseira granulata	100	100
19			Nitzschia acicularis	25	250
20			Nitzschia fruticosa	+	+
21			Nitzschia spp.	75	375
22			Skeletonema potamos	4300	3000
23			Surirella sp	1	
24			Ulnaria japonica		50
25	Thalassiosiraceae-5		9750	30750	
26	Thalassiosiraceae-10	2875	5250		
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	25
28	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.	+	
29			Actinastrum spp.	+	+
30			Ankistrodesmus sp.	+	
31			Chlorogonium spp.	25	50
32			Chodatella quadriseta		25
33			Coelastrum spp.	400	+
34			Crucigenia tetrapedia		+
35			Crucigeniella crucifera		+
36			Dichotomococcus sp.		+
37			Dictyosphaerium spp.	400	600
38			Golenkinia sp.	25	
39			Gonium sp.	+	
40			Micractinium spp.	200	200
41			Monoraphidium spp.	75	300
42			Oocystis spp.	+	+
43			Pandorina morum	+	40
44			Pediastrum duplex	+	48
45			Pediastrum simplex		+
46			Pediastrum tetras	+	16
47			Polyedriopsis spinulosa		+
48			Scenedesmus acuminatus		200
49			Scenedesmus bicaudatus		100
50			Scenedesmus denticulatus		+
51			Scenedesmus spp.	450	550
52			Schroederia sp.		+
53			Tetraedron spp.		50
54			Tetrastrum elegans	+	
55			Tetrastrum spp.		200
56			Treubaria sp.		25
57			CHLOROPHYCEAE	450	525
58	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		1
59			Polyarthra spp.	1	3
60			Trichocercidae		1
61	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	3
62			POLYHYMENOPHORA	+	150
63			CILIOPHORA	25	50
64	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA		75
65		真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
66	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	1000	6750
67			鞭毛藻	375	750
68			鞭毛虫	250	500

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019.7.3	2019.7.3
総数		22978	57644
種類組成	藍藻	50	725
	クリプト藻	2000	4750
	渦鞭毛藻	50	250
	黄金色藻	25	0
	珪藻	17176	40675
	ユーグレナ藻	0	25
	緑藻	2025	2929
	その他の植物性動物性	1375	7507
	277	783	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2019. 6. 20	2019. 6. 20		
採取時刻		10:09	11:30		
全水深 (m)		2.28	1.72		
採取水深 (m)		0.50	0.50		
採水量 (ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(25)	(150)
2			Merismopedia spp.	(25)	(525)
3			Microcystis aeruginosa	+	+
4			Pseudanabaena spp.	(25)	(50)
5			CHROCOCCALES		(25)
6			OSCILLATORIALES		(125)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	4000	2250
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		25
9			Peridinium spp.	175	100
10	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	50	
11			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	
12		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	
13			Aulacoseira ambigua		+
14			Aulacoseira pusilla	125	700
15			Aulacoseira granulata	+	75
16			Nitzschia acicularis	75	550
17			Nitzschia fruticosa	400	+
18			Nitzschia spp.	100	600
19			Skeletonema potamos	107250	22250
20			Surirella sp.		+
21			Ulnaria sp.		25
22			Thalassiosiraceae-5	2500	5250
23			Thalassiosiraceae-10	2625	7250
24			Thalassiosiraceae-25	+	+
25	BACILLARIOPHYCEAE	25	+		
26	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	25	+
27	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus spp.	+	200
28			Chlorogonium spp.		50
29			Chodatella spp.	25	+
30			Coelastrum spp.	+	+
31			Crucigenia lauterbornii	+	100
32			Crucigeniella crucifera		+
33			Dichotomococcus spp.	75	300
34			Dictyosphaerium spp.	+	500
35			Elakatothrix sp.		50
36			Eudorina sp.	32	
37			Golenkinia spp.	+	25
38			Gonium sp.		+
39			Micractinium spp.	475	200
40			Monoraphidium spp.	50	75
41			Oocystis spp.		175
42			Pandorina morum		16
43			Pediastrum duplex	32	64
44			Pediastrum simplex	+	16
45			Pediastrum tetras		+
46			Polyedriopsis spinulosa	+	
47			Scenedesmus acuminatus	+	
48			Scenedesmus bicaudatus		300
49			Scenedesmus spp.	200	600
50			Tetraedron spp.		50
51			Tetrastrum sp.		100
52			CHLOROPHYCEAE	425	1100
53	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1	+
54			Polyarthra spp.	+	6
55			Synchaeta sp.	+	
56			Collotheceidae		+
57			Trichocercidae	+	4
58			EUROTATOREA	2	1
59	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		1
60			Tintinnidium spp.	2	1
61		多膜口	POLYHYMENOPHORA	50	25
62			CILIOPHORA	100	125
63	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+	25
64	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	5250	7250
65			鞭毛藻	2000	2250
66			鞭毛虫	500	750

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 6. 20	2019. 6. 20
総数		126644	54313
種類組成	藍藻	75	875
	クリプト藻	4000	2250
	渦鞭毛藻	175	125
	黄金色藻	50	0
	珪藻	113100	36700
	ユーグレナ藻	25	0
	緑藻	1314	3921
	その他の植物性動物性	7250	9504
	655	938	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2019. 6. 12	2019. 6. 12		
採取時刻			13:24	14:34		
全水深 (m)			2.31	1.75		
採取水深 (m)			0.50	0.50		
採水量 (ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)	(75)	
2			Coelosphaerium sp.	(+)		
3			Merismopedia spp.		(275)	
4			Microcystis aeruginosa		+	
5			OSCILLATORIALES	(50)	(50)	
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1600	1200	
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		+	
8			Peridinium spp.	100	100	
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	25	
10		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+	3	
11		珪藻	Aulacoseira pusilla	150	300	
12			Aulacoseira granulata	425	50	
13			Fragilaria crotonensis		+	
14			Nitzschia acicularis	50	225	
15			Nitzschia fruticosa	+	+	
16			Nitzschia spp.	100	350	
17			Skeletonema potamos	6000	6400	
18			Ulnaria japonica		25	
19			Ulnaria sp.	+		
20			Thalassiosiraceae-5	750	3500	
21			Thalassiosiraceae-10	1150	2750	
22			Thalassiosiraceae-25	50		
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	25	
24			Phacus sp.	+		
25	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.	+		
26			Actinastrum sp.	+		
27			Ankyra sp.		25	
28			Ankistrodesmus sp.	25		
29			Chlorogonium spp.	25	75	
30			Coelastrum sp.		+	
31			Crucigeniella crucifera		+	
32			Dichotomococcus sp.		+	
33			Dictyosphaerium spp.	+	700	
34			Elakatothrix sp.		50	
35			Eudorina sp.	+		
36			Golenkinia sp.		25	
37			Gonium sp.		+	
38			Kirchneriella sp.		+	
39			Lobomonas sp.		25	
40			Micractinium spp.	100	700	
41			Monoraphidium spp.	75	100	
42			Oocystis spp.	+	300	
43			Pediastrum duplex	48	80	
44			Pediastrum tetras		8	
45			Scenedesmus acuminatus	200	100	
46			Scenedesmus bicaudatus	100	250	
47			Scenedesmus denticulatus	+		
48			Scenedesmus spp.	200	650	
49			Schroederia sp.		+	
50			Staurastrum sp.		+	
51			Tetraedron spp.	50		
52			Treubaria sp.	+		
53				CHLOROPHYCEAE	650	2700
54			輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.	
55	Polyarthra spp.	1			2	
56	Trichocercidae				3	
57	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2	+	
58			POLYHYMENOPHORA	25	+	
59			CILIOPHORA	+	50	
60	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+		
61	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	7750	6250	
62			鞭毛藻	1500	750	
63			鞭毛虫	250	250	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 6. 12	2019. 6. 12
総数		21476	28446
種類組成	藍藻	100	400
	クリプト藻	1600	1200
	渦鞭毛藻	100	100
	黄金色藻	0	25
	珪藻	8675	13600
	ユーグレナ藻	0	25
	緑藻	1473	5788
	その他の植物性動物性	9250	7003
	278	305	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2019. 5. 16	2019. 5. 16
採取時刻			10:32	9:32
全水深 (m)			2.30	1.74
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(+)
2			Aphanocapsa spp.	(25)
3			Merismopedia spp.	(50)
4			Pseudanabaena spp.	(25)
5			OSCILLATORIALES	(25)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	800
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	25
8	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+
9		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+
10			Asterionella formosa	4
11			Aulacoseira ambigua	+
12			Aulacoseira granulata	
13			Fragilaria crotonensis	+
14			Nitzschia acicularis	250
15			Nitzschia fruticosa	100
16			Nitzschia spp.	25
17			Skeletonema potamos	22000
18			Stausosirella berolinensis	+
19			Ulnaria japonica	75
20			Thalassiosiraceae-5	4500
21			Thalassiosiraceae-10	4750
22			Thalassiosiraceae-25	50
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas sp.	25
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	200
25			Ankistrodesmus spp.	+
26			Chlorogonium spp.	25
27			Coelastrum spp.	800
28			Crucigeniella crucifera	+
29			Dictyosphaerium spp.	+
30			Gonium sp.	+
31			Micractinium spp.	100
32			Monoraphidium spp.	50
33			Mougeotia sp.	
34			Oocystis spp.	50
35			Pediastrum boryanum	+
36			Pediastrum duplex	+
37			Pediastrum simplex	+
38			Pediastrum tetras	+
39			Scenedesmus acuminatus	100
40			Scenedesmus bicaudatus	+
41			Scenedesmus spp.	500
42			Schroederia sp.	+
43			Staurastrum sp.	+
44			Tetraedron sp.	
45			Tetrastrum elegans	
46			Treubaria sp.	25
47			CHLOROPHYCEAE	375
48	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.	+
49			Polyarthra sp.	1
50			EUROTATOREA	1
51	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+
52			Tintinnidium spp.	2
53		多膜口	POLYHYMENOPHORA	+
54			CILIOPHORA	25
55	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	25
56	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	4250
57			鞭毛藻	2500
58			鞭毛虫	2250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 5. 16	2019. 5. 16
総数		43880	65627
種類組成	藍藻	75	575
	クリプト藻	800	1200
	渦鞭毛藻	25	250
	黄金色藻	0	0
	珪藻	31754	50383
	ユーグレナ藻	0	25
	その他の植物性	2200	5291
	動物性	6750	6500
検査条件		2276	1403
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2019.5.9	2019.5.9
採取時刻			10:25	9:32
全水深 (m)			2.27	1.75
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(100)
2			Aphanocapsa sp.	(25)
3			Merismopedia spp.	(75)
4			Pseudanabaena mucicola	(25)
5			Pseudanabaena spp.	(100)
6			OSCILLATORIALES	(25)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1400
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	100
9	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	+
10			Nitzschia acicularis	275
11			Nitzschia fruticosa	750
12			Nitzschia spp.	175
13			Skeletonema potamos	47500
14			Ulnaria japonica	100
15			Thalassiosiraceae-5	250
16			Thalassiosiraceae-10	9750
17			Thalassiosiraceae-25	+
18			緑色植物	緑藻
19	Ankistrodesmus spp.	+		
20	Chlorogonium spp.	50		
21	Coelastrum spp.	+		
22	Dichotomococcus sp.	+		
23	Dictyosphaerium spp.	+		
24	Elakatothrix sp.	+		
25	Golenkinia spp.	50		
26	Micractinium spp.	100		
27	Monoraphidium spp.	175		
28	Pediastrum boryanum			
29	Pediastrum duplex	16		
30	Pediastrum simplex			
31	Scenedesmus acuminatus	+		
32	Scenedesmus bicaudatus	200		
33	Scenedesmus spp.	300		
34	Schroederia spp.	50		
35	Tetraedron sp.			
36	Treubaria sp.	+		
37	CHLOROPHYCEAE	175		
38	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	2
39			Keratella spp.	
40			Polyarthra spp.	+
41			Trichocercidae	2
42			EUROTATOREA	1
43	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	+
44			POLYHYMENOPHORA	50
45			CILIOPHORA	+
46	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+
47		真正太陽虫	HELIOZOA	
48	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	5000
49			鞭毛藻	2500
50			鞭毛虫	1500

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019.5.9	2019.5.9
総数		70596	39533
種類組成	藍藻	125	950
	クリプト藻	1400	6250
	渦鞭毛藻	100	300
	黄金色藻	0	0
	珪藻	58800	18075
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	1116	5315
	その他の植物性動物性	7500	5000
	1555	3643	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2019.4.22	2019.4.22	
採取時刻			10:29	10:04	
全水深(m)			2.07	1.63	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(5) (+)	
2			Aphanocapsa sp.	(5)	
3			Merismopedia sp.	(5)	
4			Pseudanabaena spp.	(375) (650)	
5			CHROOCOCCELES	(15) (25)	
6			OSCILLATORIALES	(40) (250)	
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	95 750	
8		黄金色藻	Mallomonas sp.	5	
9		珪藻	Asterionella formosa	+	13
10			Aulacoseira granulata	40	+
11			Nitzschia acicularis	230	325
12			Nitzschia fruticosa	+	+
13			Nitzschia spp.	65	125
14			Skeletonema potamos	870	200
15			Staurisirella berolinensis	+	
16			Ulnaria japonica	230	575
17			Thalassiosiraceae-5	1850	2500
18			Thalassiosiraceae-10	9600	18250
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas sp.	5	
20	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	100 200	
21			Ankistrodesmus sp.	+	
22			Chlorogonium spp.	10	75
23			Chodatella quadriseta		25
24			Chodatella sp.	5	
25			Closterium sp.	5	
26			Coelastrum sp.	40	
27			Dichotomococcus sp.	+	
28			Dictyosphaerium spp.	180	1800
29			Micractinium spp.	720	1400
30			Monoraphidium spp.	135	450
31			Pandorina morum	+	+
32			Pediastrum boryanum		+
33			Pediastrum duplex		+
34			Scenedesmus acuminatus	60	300
35			Scenedesmus bicaudatus		200
36			Scenedesmus spp.	1460	1700
37			Schroederia spp.	40	25
38			Tetraedron spp.	+	+
39			Tetrastrum elegans	20	
40			Treubaria spp.	5	25
41	CHLOROPHYCEAE	550	550		
42	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1	
43			Polyarthra sp.	+	
44			Synchaeta sp.	+	
45		EUROTATOREA		1	
46	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	4	
47			POLYHYMENOPHORA	50	
48			CILIOPHORA	50	
49	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5	
50	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	800 4750	
51			鞭毛藻	250 1500	
52			鞭毛虫	400 1000	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 4. 22	2019. 4. 22
総数		18325	37739
種類組成	藍藻	445	925
	クリプト藻	95	750
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	5	0
	珪藻	12885	21988
	ユーグレナ藻	5	0
	緑藻	3330	6750
	その他の植物性動物性	1050	6250
	510	1076	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2019.4.16	2019.4.16	
採取時刻			10:45	9:32	
全水深(m)			2.15	1.71	
採水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(25)
2			Pseudanabaena spp.	(100)	(650)
3			OSCILLATORIALES	(25)	(200)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	5750	1150
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	25	
6	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas sp.	+	
7			Asterionella formosa	27	16
8			Aulacoseira ambigua	150	
9			Aulacoseira pusilla	50	
10			Aulacoseira granulata	+	
11			Nitzschia acicularis	400	500
12			Nitzschia fruticosa	+	150
13			Nitzschia spp.	175	475
14			Skeletonema potamos	2800	2500
15			Staurisirella berolinensis	+	
16	Ulnaria japonica	200	325		
17	Thalassiosiraceae-5	9000	9250		
18	Thalassiosiraceae-10	26000	31750		
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	300	1100
20			Ankistrodesmus sp.	100	
21			Chlorogonium spp.	75	200
22			Chodatella quadriseta	+	25
23			Dictyosphaerium spp.	300	
24			Elakatothrix sp.	+	
25			Golenkinia sp.		25
26			Gonium sp.		+
27			Micractinium spp.	450	1400
28			Monoraphidium spp.	50	275
29			Pandorina morum		+
30			Scenedesmus acuminatus	+	100
31			Scenedesmus spp.	400	2000
32			Treubaria sp.		25
33			CHLOROPHYCEAE	1050	1100
34	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1	+
35			Synchaeta sp.	+	
36			Collotheceidae		+
37	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
38		多膜口	POLYHYMENOPHORA	50	75
39		-	CILIOPHORA	150	25
40	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	25	
41	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	6500	4750
42			鞭毛藻	1250	1000
43			鞭毛虫	1750	250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2019. 4. 16	2019. 4. 16
総数		57153	59341
種類組成	藍藻	125	875
	クリプト藻	5750	1150
	渦鞭毛藻	25	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	38802	44966
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	2725	6250
	その他の植物性動物性	7750	5750
	1976	350	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</li> <li>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</li> <li>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</li> <li>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</li> <li>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</li> <li>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</li> <li>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</li> <li>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</li> <li>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</li> <li>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</li> <li>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</li> <li>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</li> <li>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。</li> <li>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</li> </ul>			